



会場風景

受講させていただきました、沢田絵里と申します。私は現在、姫路聖マリア病院で医師事務作業補助者として働いております。外来での診察記事の代行入力、書類の作成を行っております。

ですが、医師事務作業補助者の人数が増えていく一方、継続的に新人に32時間の研修を行っていくのは難しく、今回受講させていただいた次第です。

書類の書き方についての講習では、退院時要約や返事を作成など今まで記入したことのない内容に挑戦でき、診断書については、日頃記入しているものの改めて気付かされることや学ぶことも多く、大変勉強になりました。

また、医学用語についての講習では外科や内科・泌尿器科・整形外科に至るまで幅広く身体の器官の構造や病気について教えて頂きました。外来での診察記事の入力の際や書類を作成する際に医学用語や知識が必要となるので、いただいた教材を是非活かしていきたいと思っております。

著名な講師の方々に教えて頂き貴重な経験ができたことを大変うれしく思っております。参加されている方が多く、これから医師事務作業補助者のニーズがどんどん高まっていくことを肌で感じました。私も講習会で学んだことを活かし、これからも邁進していきたいと思っております。ありがとうございました。

2011年度第2回医師事務作業補助者講習会を受講して 社会医療法人共愛会戸畑リハビリテーション病院 矢島直子

私は現在、医療事務として日々の計算・会計、そしてレセプト点検・請求を業務としております。その傍ら、医師事務作業補助者の業務について当院の補助者の業務も学んでおります。今回この講習会開催を知り、他病院での補助者の業務についてぜひ情報取得し、また当院に足りないものは何かを発見したいと思い参加させて頂きました。

医療法規や医療安全、個人情報保護から医療用語など、難しい内容に感じられましたが、各分野における先生方は丁寧で分かりやすい言葉で講義してくださったので、不安な所は全くありませんでした。また、質問に対しても私たちが理解できる内容で、回答をしていただき、私たちが今後自院に戻ってから業務に生かすために、とても参考になりました。また、先生方から病院紹介をしていただいたとき、そこでの補助者の業務内容や他部署との連携についてとても興味を持ちました。やはり、他部署のスタッフには補助者について理解していただき、任せていただくことで、チーム医療に少しでも貢献出来るのでは

ないか、またコミュニケーションを深めることで、院内全体が活気づくのではないかと思います。当院もチーム医療については前からの課題であり、他部署とのコミュニケーション向上を必要、目標としています。まずはそこから活動していき、医師事務作業補助者のことをもっと理解していただき業務を任せていただけるよう皆で努力していこうと決めました。

今回お忙しい中、先生方をはじめスタッフの方々にはこのような講習会を開催していただき感謝しております。まだまだ課題は山積みですが、一つ一つ確立させていきたいです。有難うございました。

2011年度医療安全分科会に参加して

川崎市立多摩病院医療安全管理対策室 東山久美

2011年10月29日(土)～30日(日)の2日間にわたり開催された、日本医療マネジメント学会医療安全分科会に参加しました。

今年度の分科会は「注目すべき医療安全対策—評価と効果」と題され、1日目は、厚生労働省の医療安全対策について講演の後、医療安全対策と評価のモニタリング手法について東北大学大学院の関田康慶教授の講演があり、

午後はその実践について、2011年3月にJCI認定を取得したNTT東日本関東病院の取り組みが紹介されました。

医療安全対策の立案は、現場から報告された事象をベースとした個別事例分析を基にした再発防止策を院内で徹底するという手法が一般的ですが、関田康慶教授から提案された分析手法は、院内のインシデント・アクシデントデータをアウトカム指標としてモニタリングする手法を理解するために有意義なものとなりました。また、NTT東日本関東病院の医療安全に対する取り組みはJCI基準をベースとしており、私たちが個々の病院で取り組んでいる医療安全対策を見直すきっかけになりました。

2日目には、「転倒・転落」事故について、推移と予防対策についての講演のあと、佐野厚生総合病院院長の奥澤 星二郎先生から「事故防止に効果を発揮するヒヤリ・ハット劇場」と題した、全職員への啓蒙活動が紹介されました。

医療安全は、高度で質の高い医療を支える重要な役割を果たすと考えます。その役割を全うするため、医療安全管理担当者は、病院職員に対し、発生した事象をわかりやすく開示し、解決策の立案・実行に実直に、真摯に取り組む姿勢が求められていることを再認識し、気を引き締めて職務を全うしたいと考えています。



会場風景